

小樽市観光基本計画策定委員会 名簿 (50音順)

| 氏名 | 選任の区分 | 備考 |
|--------------------|----------------------------|---------------------------------|
| モリ マサト 森 雅人 | 第3条第1項第1号 (学識経験者) | 札幌大谷大学 |
| ヒサスエ トモアキ 久末 智章 | 第3条第1項第2号 (団体推薦) | 一社)小樽観光協会 |
| イノウエ コウ 井上 晃 | 第3条第1項第2号 (団体推薦) | 一社)小樽観光協会 |
| シムムラ キミヒロ 鳥村 公宏 | 第3条第1項第2号 (団体推薦) | 小樽商工会議所 国際・観光委員会 |
| スギモト フミエ 杉本 扶美枝 | 第3条第1項第2号 (団体推薦) | おたる案内人マイスター |
| イザワ アタキ 伊澤 興 | 第3条第1項第2号 (団体推薦) | 一社)小樽物産協会 |
| ハセガワ タクミ 長谷川 巧 | 第3条第1項第3号 (関係行政機関) | 北海道運輸局 観光部観光地域振興課 |
| リ ジェミン 李 濟民 | 第3条第1項第1号 (学識経験者) | 国立大学法人 小樽商科大学 |
| オオシマ コイチ 大島 吾一 | 第3条第1項第3号 (関係行政機関) | 北海道後志総合振興局 産業振興部商工労働観光課観光戦略室 |
| スギモト リアナ 杉本 憲昭 | 第3条第1項第2号 (団体推薦) | 一社)小樽青年会議所 |
| サイトウ サヤカ 斎藤 さやか | 第3条第1項第4号 (市長が必要と認める委員) | 一般公募委員 |
| シズミ マチヨ 清水 道代 | 第3条第1項第4号 (市長が必要と認める委員) | 一般公募委員 |
| コヒヤマ タカシ 小檜山 隆 | 第3条第1項第4号 (市長が必要と認める委員) | 小樽まちづくりエントリー制度委員 |
| タカクラ マシオ 高倉 舞汐 | 第3条第1項第4号 (市長が必要と認める委員) | 一般公募委員 (小樽まちづくりエントリー制度) |
| シモナカ ヒロフミ 下中 博文 | 第3条第1項第4号 (市長が必要と認める委員) | 一般公募委員 (小樽まちづくりエントリー制度) |

小樽市観光基本計画策定委員会設置要綱

(設 置)

第1条 小樽市第2次観光基本計画（以下「基本計画」という。）策定のため、小樽市観光基本計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）を設置する。

(所管事務)

第2条 策定委員会は基本計画について審議し、市長に対し提言する。

(組織等)

第3条 策定委員会は、委員16名以内で構成し、次の各号に掲げる者から市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 観光関係団体等諸団体からの推薦者
- (3) 関係行政機関の職員
- (4) その他市長が必要と認める者

2 策定委員会の委員の任期は、市長が委嘱した日から前条に規定する所管事務が完了するまでとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 策定委員会に次の役員を置く。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 2名

2 委員長は、委員の互選により選出する。

3 副委員長は、委員長の推薦により委員の承認を得て選出する。

(役員の任務)

第5条 委員長は、策定委員会を代表し会務を総理する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故等の事情が生じたときは、その職務を代理する。

(会 議)

第6条 策定委員会の会議は、委員長が召集する。

2 策定委員会の議長は、委員長が務める。

3 委員長は、必要と認められるときは、構成員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を聞くことができる。

(部会)

第7条 策定委員会は、必要に応じて部会を置くことができる。

2 部会は、委員長が指名する委員をもって組織する。

3 部会に部会長を置き、部会に所属する委員の互選により定める。

(事務局)

第 8 条 策定委員会の事務局は、産業港湾部観光振興室に置く。

(補 足)

第 9 条 この要綱に定めるもののほか、策定委員会に関し必要な事項は委員長が別に定める。

附則

この要綱は、平成 28 年 3 月 23 日から施行する。

小樽市観光基本計画策定委員会スケジュール

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 備考 |
|-----------|-------------------------------|---------------------------------|------------------------------------------|----|----------------------------------|---------------------------------------------------|----|
| 日付 | 4月28日(木) | 5月31日(火) | 6月下旬 | | 8月下旬 | 9月下旬 | |
| 策定委員会開催 | 第1回 | 第2回 | 第3回 | | 第4回 | 第5回 | |
| (内容) | 委員委嘱 スケジュール説明 小樽観光の現状説明 | 内容議論 小樽観光 目指すべき姿 とその課題 | 内容議論 基本的な考え方、 これまでの成果と 目標設定について | | 内容議論 (第3回の議論を受けて) 主要施策の方向性 | 内容議論 (第2回、第3回の 議論を受けて) 小樽観光推進の各 主体の役割 | |
| 庁内合意 | | | | | | | |
| パブリックコメント | | | | | | | |
| 市民周知 | | | | | | | |

| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 備考 |
|-----------|------------------------|-------|----------------------------|------|----------------|-----------------|----|
| 日付 | 10月下旬 | 11月下旬 | 12月下旬 | 1月下旬 | 2月下旬 | 3月下旬 | |
| 策定委員会開催 | 第6回 | 第7回 | 第8回(予備) | | | | |
| (内容) | 内容議論 市内重点地域につ いて | 全体確認 | 全体調整 市長へ提言書手交 | | | | |
| 庁内合意 | | | 企画会議(部長会 議) 庶務担当課長会議 | | | | |
| パブリックコメント | | | | 資料準備 | 意見募集(1ヶ月 間) | 意見対応 | |
| 市民周知 | | | | | | 広報掲載依頼(5月 号) | |

平成 26 年度 小樽市観光入込客数の概要

1 観光入込客数

(100 人未満四捨五入)

| 区 分 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 | 対前年度増減 | 対前年度比 |
|-----|---------------|----------------------|---------------|--------|
| 上 期 | 391 万 9,300 人 | 387 万 3,400 人 | ▲ 4 万 5,900 人 | 98.8% |
| 下 期 | 318 万 8,400 人 | 357 万 4,400 人 | 38 万 6,000 人 | 112.1% |
| 全 期 | 710 万 7,700 人 | 744 万 7,800 人 | 34 万 100 人 | 104.8% |

平成 26 年度の観光入込客数は、外国人観光客が好調に推移していることから、対前年度比で 104.8% の 744 万 7,800 人となり、3 年連続の増加となりました。

主な内訳をみると、道外客数は上期に減少したものの、下期で中国人をはじめとした外国人観光客が大幅に増加したことにより対前年度比で 113.6% の 226 万 4,400 人となりました。道内客数については、おたるドリームビーチ付近の交通事故による海水浴客の大幅な減少があったものの、余市町を舞台とした NHK 連続テレビ小説「マッサン」の効果などにより、対前年度比で 101.4% の 518 万 3,400 人となりました。

宿泊客数は、対前年度比で 102.8% の 66 万 3,900 人となりました。特に、外国人宿泊客数については、円安やビザ発給要件の緩和、消費税免税制度の拡充などにより、対前年度比で 135.3% の 9 万 8,610 人となり 2 年連続で過去最高を更新しました。国別では、中華圏の旧正月「春節」時を中心に急増した中国が対前年度比で 273.9% と大幅に増加してトップとなり、次いで台湾、香港の順となっています。また、近年著しく増加しているタイは、対前年度比で 179.6% と大きく増加し 4 位となりました。

2 道外・道内客数

(100 人未満四捨五入)

| | 区 分 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 | 対前年度増減 | 対前年度比 |
|-----|---------|---------------|----------------------|--------------|--------|
| 上 期 | 道 外 客 数 | 122 万 1,100 人 | 121 万 5,900 人 | ▲ 5,200 人 | 99.6% |
| | 道 内 客 数 | 269 万 8,200 人 | 265 万 7,500 人 | ▲ 4 万 700 人 | 98.5% |
| 下 期 | 道 外 客 数 | 77 万 2,300 人 | 104 万 8,500 人 | 27 万 6,200 人 | 135.8% |
| | 道 内 客 数 | 241 万 6,100 人 | 252 万 5,900 人 | 10 万 9,800 人 | 104.5% |
| 全 期 | 道 外 客 数 | 199 万 3,400 人 | 226 万 4,400 人 | 27 万 1,000 人 | 113.6% |
| | 道 内 客 数 | 511 万 4,300 人 | 518 万 3,400 人 | 6 万 9,100 人 | 101.4% |

3 宿泊・日帰り客数

(100人未満四捨五入)

| | 区 分 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 | 対前年度増減 | 対前年度比 |
|----|-------|---------------|---------------|---------------|--------|
| 上期 | 日帰り客数 | 354 万 7,400 人 | 350 万 2,900 人 | ▲ 4 万 4,500 人 | 98.7% |
| | 宿泊客数 | 37 万 1,900 人 | 37 万 500 人 | ▲ 1,400 人 | 99.6% |
| | 宿泊客延数 | 42 万 7,200 人 | 43 万 300 人 | 3,100 人 | 100.7% |
| 下期 | 日帰り客数 | 291 万 4,400 人 | 328 万 1,000 人 | 36 万 6,600 人 | 112.6% |
| | 宿泊客数 | 27 万 4,000 人 | 29 万 3,400 人 | 1 万 9,400 人 | 107.1% |
| | 宿泊客延数 | 32 万 6,100 人 | 35 万 2,700 人 | 2 万 6,600 人 | 108.2% |
| 全期 | 日帰り客数 | 646 万 1,800 人 | 678 万 3,900 人 | 32 万 2,100 人 | 105.0% |
| | 宿泊客数 | 64 万 5,900 人 | 66 万 3,900 人 | 1 万 8,000 人 | 102.8% |
| | 宿泊客延数 | 75 万 3,300 人 | 78 万 3,000 人 | 2 万 9,700 人 | 103.9% |

4 修学旅行宿泊客数

| | 区 分 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 | 対前年度増減 | 対前年度比 |
|----|---------|-------------|-------------|-----------|-------|
| 上期 | 修旅宿泊客数 | 1 万 551 人 | 9,414 人 | ▲ 1,137 人 | 89.2% |
| | 修旅宿泊学校数 | 124 校 | 110 校 | ▲ 14 校 | 88.7% |
| 下期 | 修旅宿泊客数 | 7,020 人 | 5,714 人 | ▲ 1,306 人 | 81.4% |
| | 修旅宿泊学校数 | 53 校 | 46 校 | ▲ 7 校 | 86.8% |
| 全期 | 修旅宿泊客数 | 1 万 7,571 人 | 1 万 5,128 人 | ▲ 2,443 人 | 86.1% |
| | 修旅宿泊学校数 | 177 校 | 156 校 | ▲ 21 校 | 88.1% |

5 外国人宿泊客数

| | 区 分 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 | 対前年度増減 | 対前年度比 |
|--------|----------|----------|-----------|----------|--------|
| 上 期 | 外国人宿泊客数 | 3万4,034人 | 3万9,064人 | 5,030人 | 114.8% |
| | 外国人宿泊客延数 | 3万8,926人 | 4万3,047人 | 4,121人 | 110.6% |
| 下 期 | 外国人宿泊客数 | 3万8,826人 | 5万9,546人 | 2万720人 | 153.4% |
| | 外国人宿泊客延数 | 4万5,322人 | 6万9,938人 | 2万4,616人 | 154.3% |
| 全 期 | 外国人宿泊客数 | 7万2,860人 | 9万8,610人 | 2万5,750人 | 135.3% |
| | 外国人宿泊客延数 | 8万4,248人 | 11万2,985人 | 2万8,737人 | 134.1% |

【参考・26年度宿泊客数トップ6の過去5年間の推移】

| 区 分 | 1位・中国 | | 2位・台湾 | | 3位・香港 | | 4位・タイ | | 5位・韓国 | | 6位・シンガポール | | |
|-----|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------|-------|--------|
| | 人数 | 前年比 | 人数 | 前年比 | 人数 | 前年比 | 人数 | 前年比 | 人数 | 前年比 | 人数 | 前年比 | |
| H22 | 宿泊人数 | 6,516 | 118.5% | 5,375 | 79.0% | 17,148 | 93.1% | 861 | 200.2% | 7,464 | 127.7% | 6,362 | 308.8% |
| | 宿泊延数 | 6,888 | 120.7% | 5,868 | 81.1% | 18,796 | 88.7% | 915 | 193.0% | 8,007 | 127.3% | 7,147 | 252.6% |
| H23 | 宿泊人数 | 5,794 | 88.9% | 3,823 | 71.1% | 12,030 | 70.2% | 331 | 38.4% | 4,277 | 57.3% | 2,845 | 44.7% |
| | 宿泊延数 | 6,573 | 95.4% | 4,848 | 82.6% | 13,614 | 72.4% | 370 | 40.4% | 5,584 | 69.7% | 3,101 | 43.4% |
| H24 | 宿泊人数 | 4,318 | 74.5% | 8,148 | 213.1% | 14,711 | 122.3% | 1,261 | 381.0% | 7,977 | 186.5% | 4,093 | 143.9% |
| | 宿泊延数 | 5,066 | 77.1% | 8,970 | 185.0% | 16,816 | 123.5% | 1,482 | 400.5% | 9,524 | 170.6% | 4,742 | 152.9% |
| H25 | 宿泊人数 | 9,921 | 229.8% | 12,727 | 156.2% | 19,009 | 129.2% | 6,714 | 532.4% | 9,692 | 121.5% | 6,889 | 168.3% |
| | 宿泊延数 | 11,082 | 218.8% | 13,716 | 152.9% | 22,722 | 135.1% | 7,045 | 475.4% | 11,050 | 116.0% | 8,091 | 170.6% |
| H26 | 宿泊人数 | 27,169 | 273.9% | 16,782 | 131.9% | 14,602 | 76.8% | 12,056 | 179.6% | 11,555 | 119.2% | 6,432 | 93.4% |
| | 宿泊延数 | 30,337 | 273.8% | 17,556 | 128.0% | 17,451 | 76.8% | 12,718 | 180.5% | 13,739 | 124.3% | 7,732 | 95.6% |

【※参考 海水浴客数（上期で発表済）】

| 【全 期】 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 | 対前年度増減 | 対前年度比 |
|-------|-----------|-----------|-----------|-------|
| 海水浴客 | 26万8,700人 | 19万4,100人 | ▲7万4,600人 | 72.2% |

以上